とちぎ国体における歯科からのスポーツ支援

-栃木県歯科医師会・県内公認スポーツデンティストの活動報告-

新型コロナウイルスの影響による延期や中止を経て、3年振りの開催となった第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」および第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」が、10月31日、すべての日程を終え閉幕した。



-大会日程-

- ・いちご一会とちぎ国体冬季大会 2022 年 1 月 24 日~30 日
- ・いちご一会とちぎ国体秋季大会 2022 年 10 月 1 日~11 日
- ・いちご一会とちぎ大会(全国障害者スポーツ大会) 2022 年 10 月 29 日~31 日



資料として渉猟し得た過去の国体での医療救護班としての歯科医師派遣要請は、平成 24 年に岐阜県で開催された「ぎふ清流国体」に始まる。

ぎふ清流国体におけるデンタルサポート事業



第12回 全国障害者スポーツ大会 平成24年10月13日(土)~10月15日(月)

-歯科医師を派遣した競技-

プレ大会救護(平成23年)	本大会救護(平成24年)	本大会視察調査(平成24年)
空手道	空手道	バスケットボール
ラグビー	ラグビー	レスリング
ホッケー	ホッケー	サッカー
ボクシング	ボクシング	陸上
CPサッカー		野球(高等学校)

資料提供 岐阜県歯科医師会 岐阜県スポーツ健康づくり歯学協議会

その後、平成27年4月に日本スポーツ協会公認スポーツデンティスト1期生67名が誕生し、同年11月に日本スポーツ協会公認スポーツデンティスト協議会が発足したことにより、スポーツデンティストの役割が明確化し、国体への歯科的支援もより具体化するようになった。平成28年に岩手県で開催された「希望郷いわて国体」以降は、スポーツデンティストを中心に各県歯科医師会は様々なかたちで国体への支援を行っている。

国体先催県における歯科医師会の活動実績

- 岩手県歯科医師会(平成28年 秋季国体開催県)
 - 平成26年度より"希望郷いわて国体"における歯科的サポートを目的として、岩手県教育 委員会・岩手県体育協会のバックアップの下、70名の「いわてスポーツデンティスト 通称 ISD」を養成. (2か年計画)
 - ・国体開催期間中、54名の歯科医師を医療救護班として各競技会場に配置
 - ・歯科医師を常駐で配置した競技は、ラグビーフットボール・フィールドホッケー・ハンドボール・ レスリング.
 - ・相撲、ラグビ ーフットボール競技会場内に、スポーツ歯科関連のブースを出展し、マウスガ - ドの展示や「いわてスポーツデンティスト」のパンフレット配布を行った.
- 愛媛県歯科医師会(平成29年 秋季国体開催県)
 - "愛顔つなぐえひめ国体"に向け、愛媛県・愛媛県体育協会・明海大学歯学部の協力を得 て「<mark>愛媛県歯科医師会認定 えひめスポーツデンティスト 通称ESDJ100名を養成(10ヵ月)</mark>・国体強化選手への歯科検診・マウスガードの提供、(オフィシャルサプライヤー契約に基づき
 - 国体出場選手100名分の歯科検診・マウスカード作製クーボンを贈呈) ・大会期間中、各競技会場への歯科医師配置

- 福井県歯科医師会(平成30年 秋季国体開催県)
 - ・"福井しあわせ元気国体"に向け、大会前年までに約100名のスポーツ歯科医を養成.
 - 福井県歯科医師会が独自で養成しており、名称は「県健康ス
- ・福井国体の強化指定選手の希望に応じ、マウスガードを無償提供.
- 茨城県歯科医師会(令和元年 秋季国体開催県)
 - "いきいき茨城ゆめ国体"に向け、平成29年9月より茨城県教育委員会・茨城県体育協会 の後援の下、筑波大学・国立スポーツ科学センター・筑波大学附属水戸地域医療教育センター・茨城県厚生連総合病院水戸協同病院・日本スポーツ歯科医学会・日本スポーツ 健康づくり歯学協議会等の協力を得て、「い ・定員を60名に限定し、日本スポーツ協会公認スポーツデンティスト養成講習会のカリキュラム を再構成した内容で構成.
- 鹿児島県歯科医師会(令和2年 秋季国体 延期)
- 三重県歯科医師会(令和3年 秋季国体 中止)

私の所属する栃木県歯科医師会も、県民に対するスポーツ歯科やスポーツマウスガードの普及啓 発のために、ホームページ上での紹介、リーフレットの作成・配布、小冊子等への掲載、新聞社から の取材対応、各種イベントでのブース展示など、多方面からのアプローチを行ってきた。

本会では、3年ごとに会員アンケートを実施しているが、直近(令和3年)の会員アンケート集計 結果では、「歯・口腔の外傷、外傷予防に関しての助言もしくは講話をしたことがありますか?」と の問いに対して、半数以上の会員が「はい」と回答している。これは、主に学校等の教育現場におけ るものだが、その背景には、学校保健安全法に、スポーツ活動中における歯・口の外傷予防として、 マウスガードの適切な使用を推奨するということが明記されたことや、国体開催を控え、県民のス ポーツ熱と健康への関心の高まりがあったものと推測される。

スポーツ歯科・スポーツマウスガード普及啓発のための 栃木県歯科医師会の取組み



県民向け小冊子への掲載



下野新聞 取材対応·記事掲載



フタイムでコー トに立つよ坊さん

的健康管理と定期的な歯科健

にスポーツ活動を通じた歯科

県歯では、この絶好の機会

診・歯科受診の重要性を周知

し、県民の歯と口の健康と歯

担当理事·印南秀之)

(栃木県歯科医師会地域保健

たいと考えている。 科保健の推進に寄与していき

定▼スポーツマウスガー ラシや県歯作成の各種 リーナ宇都宮)で行われ 体育館(プレックスア 容は盛りだくさんで、開 相談一を実施するなど内 ドの製作実演▼無料歯科 リーフレットを配布。特 来場者約8千人に対し るホームゲーム2目間の 場から試合開始直前まで長蛇 函数測定▼口唇閉鎖力測 設プースでは▼口腔内細 例年、4月に宇都宮市 歯科医院専売の歯ブ

の追い風となっている。 予防やサルコペニア対策もそ 寿命の延伸に向けたフレイル ますます高まっている。健康 スポーツ熱と健康への関心は 回国民体育大会(いちご ク競技大会に続き、3年 が決定しており、県民の 後の2022年には第77 ピック・パラリンピッ 会とちぎ国体)の開催

面の電光掲示板に日本歯科企

の列は途切れることがない。

また、試合中には観客席壁

「行こう!歯科健診」 プロジェクト事業を展開

使」を務めるプロボウラーの 受診の重要性をアピール のマスコットキャラク など、来場者に歯科健診 GO BREX!」の上映 CM 「行こう歯科健診! 演による県歯オリジナル ターであるプレッキー 渡辺けあき選手とチーム 2020年の東京オリ ている。

「行こう!歯科健診」が表示さ 対歯

ボールチームのリンク栃木ブ

栃木県

ら日本男子プ は、一昨年か 栃木県歯で

レックスの試合会場におい

フレッキーとともに歯科健診をアピール

イベントでのブース出展 日歯広報 1727 号 (2019年5月15日) より

施しているもので、今年

で3年目を迎えた。

シオダ、アマガイの協賛と 県創業のナカニシ、マニー、

県歯の「歯及び口腔の健口大

リーナ天井の大型モニターに

ハーフタイム時にはア

た特設アースを出展している。

本事業は、岩瀬歯科商会が

科健診の受診促進を目的とし

歯科保健の普及啓発と歯

ゲームスポンサーとなり、本

メーカー各社の協力を得て実

こうした取り組みの最終ステージとして、栃木県歯科医師 国体先催県に倣い、国体選手をはじめとする競技者 歯科医学的見地から支援を行 ~ 競技団体に対して、 う とがで きるよう事業計画を練っていたところであるが、 新型コロナ ウイルスの感染拡大により、 その計画はすべて中止せ 得ない状況に陥った。

この件については、地元地方紙である下野新聞社にも取材 『栃木国体の話題 競技者の歯を守るスポ ーツデ ンテ 独自養成と周知進まず』といった見出しで紙上掲載され た。

道具。の一つ。そんなスポー ように進まず、旺南秀之常務体や競技団体への周知も思う かしコロナ禍も相まって自治 向けて、独自の基準を設けた とちぎ団体・とちぎ大会」に 県で開催される「いちご一会 歯科医師会は2022年に本 トする専門医たちがいる。「ス ツの現場で歯の健康をサポー 「栃木版スポーツデンティス 栃木国体の話題 競技に取り組むアスリー の養成を進めている。 だ。 県歯科医師会 独自養成と周知 進まず 禍影響

ボーツデンティスト

統一化、質を向上させること 作製など歯科医師間で対応を というもの。 菌を通してアスリートに

けがの治療やマウスピースの まった。スポーツ選手の歯の

事例もある。19年に開催され 養成を決めた。 ポーツデンティストが60人ほ りつつある。 近年の国体開催県では先進

民質な競技環境を提供しよう
た茨城国体では、同県内のス
医の体制整備が必須項目にな 体では脱技現場を支える歯科 と派遣され各会場で活躍。国

催が延期になるなど、進展に 遊めている。 ライン講座で対応することな 遅れが出ている。今後はオン どを決め、急ビッチで養成を イルス感染拡大により講座開 ただ県内では思うように周 一方で本県は新型コロナウ

知が進んでいない現実もあ を込めた。

を込めた。(湯田大士)

広まれば、自治体や競技団体 ると思っていた。スポーツデ ンティストへの認識がもっと 正直、もう少し配置要請があ 事故がないことが一番だが、 も配置要請が判断しやすくな 印南常務理事は 「試合中に いる。 理事(55)は「我々の取り組

科医の認証制度で、13年に始 本スポーツ協会が公認する歯 スポーツデンティストは日

しかし、公認には約2年間

常務理事らわずか6人。そこ 必要があるなど容易ではな にわたる講座を受講し続ける



ツと歯の結び付きの大切さ を務める印南さん。スポーケ県歯科医師会常務理事人で県歯科医師会常務理事 を訴える=宇都宮市内

独自のスポーツデンティスト 年計画で、栃木団体のために で県歯科医師会は20年から2

THE REPORT OF THE THE CHEST HE HAVE THE CHEST OF THE CHES

競技者の歯を守る「スポーツデンティスト」

予期せぬ逆風ではあったが、今年6月には、3年降りに「第22回日本スポーツ・健康づくり歯学協議会」を宇都宮市で開催することができた。

この協議会は、本来、国体開催を翌年に控えた県の歯科医師会が当番となり開催されるものだが、国体が来年に延期となった鹿児島県では、すでに令和元年に開催済みとなっていたため、変則的に昨年の当番県であった栃木県歯科医師会が当番となり、全国 32 都府県歯科医師会より 62 名がハイブリッド方式で参加。本協議会会長でもある杉山先生にもご臨席賜り、とちぎスポーツ医科学センターの視察や同センター長の池田達昭先生による特別講演、茨城県歯科医師会の荻野義重先生による茨城国体における茨城県歯科医師会の活動報告などが行われた。

第22回日本スポーツ・健康づくり歯学協議会 (令和4年6月18日(土)宇都宮東武ホテルグランデにて開催)



とちぎスポーツ医科学センター視察



協議会 (茨城国体活動報告)



特別講演

今年1月24日~30日に行われた「いちご一会とちぎ国体冬季大会(第77回国民体育大会 スケー ト競技会・アイスホッケー競技会)」、10月1日~11日に行われた「いちご一会とちぎ国体秋季大会 (第 77 回国民体育大会)」においては、各競技会場に設置された救護所への歯科医師の派遣要請は なかったが、医療救護基本計画および大会実行委員会事務局からの協力依頼に基づき、救護協力歯 科医院一覧を作成し、各救護所に通知した。

第77回国民体育大会"いちご一会とちぎ国体" 医療救護基本計画

大会参加者等の傷病の発生に際し応急処置を行うため、総合開・閉会式会場、競技会場 等に救護所を設置する。また、必要に応じ医療救護業務を統括するため、救護本部を設置 する。

2 救護班の設置

救護所に医師、看護師等必要に応じた編成による救護班を設置する。

- 3 医薬品等の配備
 - 救護所に、必要に応じて医薬品、医療機器、その他必要物品等を配備する。
- 4 移送先医療機関の確保
 - 医療機関への移送が必要な傷病者が発生した場合に備え、予め移送先医療機関を確保
- 5 医療救護体制の周知徹底
 - 大会参加者等の傷病の発生に伴う対応については、パンフレットの作成・配布等により、 各都道府県、宿泊施設及び医療機関等に周知徹底を図る。
- 6 その他
 - 上記のほか、医療救護に関して必要な業務については、要項等を定め推進する。

いちご一会とちぎ国体冬季大会への医療救護に係る協力依頼

い栃実第518号 令和3(2021)年12月23日

一般社団法人栃木県歯科医師会 会長 赤沼 岩男 様

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会 会長 福田 富一

いちご一会とちぎ国体冬季大会参加者等が医療機関を受診した際の対応について(依頼)

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の開催準備につきましては、日頃から格段の御理解・ご協力をいただ き厚く御礼申し上げます。

書原(削斗申〕上げます。 さて、令和(2022)年1月24日(月)から30日(日)までの7日間、日光市を会場に、第77回国民体育 大会冬季大会「いちご一会とちぎ国体冬季大会」を開催いたします。 国体・順本水の医療機関に係る協力につきましては、令和3(2021)年10月1日付けい栃実第322号 で依頼しているところですが、冬季大会開催まで1か月余りとなったことから、別紙1の救急告示医療機関 及び休日校間急患センター等に、大会運電及び救急搬送に係る協力依頼について、別紙2の写しのとお り通知いたしましたので、貴会におかれましては、御了知いただくとともに、各地区書料医師会及び会員 の管様への開知方お願い申し上げます。

58

添付資料 いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会参加者等が医療機関を受診した際の対応について

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会事務局 (栃木県国体・障害者スポーツ大会局 施設調整課) 宿泊・衛生担当

いちご一会とちぎ国体冬季大会 救護所設置計画

	式典・競技			
1月24日(月)	開会式 スケート(ショートラック) フィギュア	日光市寺市文化会館 今代青少年スポーツセンター屋内スケートリンク 根木県立日光館除アイスアリーナ	区約1 看講的1 医約1~2 看護師1~2	船越歯科医院 鈴木歯科クリニック
1月25日(火)	スケート(スピード) スケート(ショートトラック) 午前 フィギュア	日光市器体2ケートセンター 今市青少年スポーシセンター屋内スケートリンク 栃木県立日光野降アイスアリーナ	医師1 看護師1 医師1 看護師1 医師1~2 看護師1~2	近藤歯科医院 宮川イーストデンタルクリニック
1月26日(水)	スケート(スピード) スケート(フィデュア) アイスホッケー	日分市製はスケートセンター 板不県立日光製除アイスアリーナ 日分市線配ペームリンク 今代青少年スポーツセンター屋内スケートリンク	医師1 希護師1 医師1~2 希護師1~2 医師1~3 希護師1~3 区約2~3 看護師2~3	てづか歯科医院 いわせ歯科口腔外科 耳鼻咽喉科クリニック
1月27日(水)	スケート(スピード) スケート(フィギュア) 午前 アイスホッケー 午後 アイスホッケー	日光市器体スケートセンター 様木県立日光開降アイスアリーナ 様木県立日光開降アイスアリーナ 日光市線尾ドームリンク 今両者シ年スポーツセンター室内スケートリンク	医師1 看護師1 医師1〜2 看護師1〜2 医師1〜2 表護師1〜2 医師1〜3 看護師1〜3 医師2〜3 看護師2〜3	船越歯科医院 医療法人三春会 入江デンタルクリニック
1月28日(金)	スケート(スピード) アイスホッケー 表案式(スケート)	日光市路線スケートセンター 栃木県立日光野降アイスアリーナ 日光市組成・一ムリンク 観光ホテル 日光千垣物語	医約1 看護師1 医約1~2 看護師1~2 医約1~3 看護師1~3	齋藤歯科医院
1月29日(土)	アイスホッケー	栃木県立日光森降アイスアリーナ 日光市縁尾ペームリンク	医師1~2 看護師1~2 医師1~3 看護師1~3	大島歯科医院
1月30日(日)	アイスホッケー 表彰式(アイスホッケー)	板木県立日光器降アイスアリーナ 日分市婦民ペームリンク 観分ホテル 日光千振物語	医師1~2 看護第1~2 医師1~3 看護第1~3	荒神橋のだ歯科医院

第77回国民体育大会冬季大会 スケート競技会・アイスホッケー競技会 救護協力歯科医院一覧

	医院名	対応可能時間 (診療時間)	住所	電話番号
1月24日(月)	船越歯科医院	9:00~12:00 14:00~18:00	日光市本町7番28号	0288-53-1330
	鈴木歯科クリニック	9:00~13:00 14:30~19:00	日光市土沢2-16	0288-26-5566
25日(火)	近藤歯科医院	9:00~12:30 14:00~18:00	日光市木和田島 1568-262	0288-26-6620
	宮川イーストデンタルクリニック	9:00~13:00 15:00~19:00	日光市稲荷町 1丁目394-8	0288-53-6480
26日(水)	てづか歯科医院	9:00~12:00 14:00~18:30	日光市松原町20-2	0288-53-1956
	いわせ歯科口腔外科 耳鼻咽喉科クリニック	9:00~12:00 14:00~18:30	日光市塩野室町 107-3	0288-32-7311
27日(木)	船越歯科医院	9:00~12:00 14:00~18:00	日光市本町7番28号	0288-53-1330
	医療法人三春会 入江デンタルクリニック	9:00~12:00 15:00~19:00	日光市大室1138-7	0288-26-0090
28日(金)	齋藤歯科医院	9:00~12:00 14:00~18:00	日光市花石町1824	0288-54-1122
29日(土)	大島歯科医院	9:00~13:00 15:00~18:00	日光市花石町15-8	0288-54-0832
30日(日)	荒神橋のだ歯科医院	9:00~12:00 14:00~18:00	日光市森友904-1	0288-22-8211

救護協力歯科医院として、大会期間中の待機要請に応じてもらった各歯科医院(歯科医師)に対 しては、大会関係者が受診した場合の対応について、栃木県歯科医師会スポーツ歯科委員会(委員 は日本スポーツ協会公認スポーツデンティストにより構成)による事前伝達講習を受講してもらい、 一定水準の対応、共通認識が可能なよう確認を行った。

5月21日・22日に開催された「いちご一会とちぎ大会(第22回全国障害者スポーツ大会リハーサ ル大会)」、10月29日~31日に開催された「いちご一会とちぎ大会(第22回全国障害者スポーツ大 会本大会)」においては、知的障害者バスケットボールと車いすバスケットボールの競技会場に計5 日間、各1名ずつ、延べ10名の歯科医師派遣要請があった。本要請に対しては、県内の日本スポー ツ協会公認スポーツデンティスト有資格者を派遣し、各競技会場救護所で待機した。

いちご一会とちぎ大会 第22回全国障害者スポーツ大会 リハーサル大会・本大会











会場救護所の常備薬品は、歯牙 保存液のみだったため、栃木県 歯科医師会として「口腔外傷対 応基本セット」「歯科用ポータブ ルユニット」を用意し、持参した。





10月31日現在、全大会期間中の口腔外傷発生件数、受診者数(歯科)の集計中である。

[記 栃木県歯科医師会スポーツ歯科委員会副委員長 印南秀之]